
②本市の公共交通の課題

「第2次那須塩原市地域公共交通計画」に基づき、公共交通の課題について以下のとおり示します。

【移動における課題】

- ①地域住民：自動車を運転しなくても生活圏域内を移動できる環境の創出
 - ②観光客：自動車を運転できない人の移動手段の継続的な確保
-

【地域公共交通の課題】

- ①移動制約者の移動手段の確保・維持（自家用車を利用しなくても生活できる環境の創出）
 - ②地域公共交通の持続性向上に向けた公共交通利用者層の拡大
 - ③まちづくりへの対応（都市構造の転換に向けた施策との整合、観光施策との整合）
 - ④コロナ禍を契機としたニューノーマルの浸透や5G等のIT技術の推進、地球温暖化への対応等
-

（2）公共交通の推進方針

①基本的な考え方

立地適正化計画においては、日常生活に必要なサービスや行政サービスが住まいなどの身近に存在する「多極ネットワーク型コンパクトシティ」の形成を目指しています。コンパクトシティ施策を具体的に推進するため、本計画では都市機能誘導区域及び居住誘導区域を設定していますが、一方でこれらの誘導区域をつなぐ持続可能な公共交通を確保することが必要です。そのため「第2次那須塩原市地域公共交通計画」と連携して、将来にわたり誰もが安全でスムーズに移動できる公共交通ネットワークの構築を推進します。

②基本理念

「第2次那須塩原市地域公共交通計画」に基づき、基本理念について以下のとおり示します。

まちづくりと整合し
広域幹線ネットワークを補い一体となって機能する
地域公共交通ネットワークの確保・維持

③「広域幹線ネットワーク」の形成

「第2次那須塩原市地域公共交通計画」では、「第2次那須地域定住自立圏地域公共交通計画」で設定する、那須地域定住自立圏域内の「拠点」及び「幹線区間（拠点間を結ぶ区間のうち、圏域として確保維持に努める区間）」との整合を図り幹線区間を下記の通り設定し、重点的な路線の維持確保と利便性の向上に向けた各種取組を実施するものとしています。

▼幹線区間の概要

幹線区間名	内容	区間
主要幹線区間	- 輸送量が多く、主要施設（総合病院、高校、商店）が集積する区間。 - 運行間隔はおおむね 30 分～60 分（一定間隔）を目標とする。	那須塩原駅～黒磯駅
		那須塩原駅～西那須野駅
		那須塩原駅～大田原市役所
		西那須野駅～大田原市役所
一般幹線区間	- 輸送量が多く、複数の目的で利用される区間。 - 運行間隔はおおむね 60 分～90 分（一定間隔）を目標とする。	黒磯駅～友愛の森
		西那須野駅～アグリパル塩原
特定幹線区間	- 輸送量が多く、主に特定の目的で利用される区間、または輸送量は少ないが、複数の目的で利用される区間。 - 生活に必要な幹線として継続的な確保維持を目標とする。	友愛の森～那須湯本温泉
		黒磯駅～板室温泉
		アグリパル塩原～塩原温泉バスターミナル
		黒磯駅～伊王野支所
		那須塩原駅～田町ロータリー

▼拠点案と幹線区間図

